

DIGITAL TRANSFORMATION

# AIZU DATA VALLEY

Aizu Office Information

オフィス立地のご案内

エリア・ビル名称については市民公募を予定



お問合せ ～ 会津への進出をご検討の際には、お気軽にご連絡ください～

株式会社AiYUMU（あゆむ）

〒965-0008 福島県会津若松市＝町2-3

TEL: 0242-38-2083

FAX: 0242-27-3681

MAIL: y.yatsuhashi@aizu-aiyumu.co.jp

会津若松市 観光商工部 企業立地課

〒965-8601 福島県会津若松市東栄町3-46

TEL: 0242-39-1255

FAX: 0242-39-1433

MAIL: kigyo@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp

# 賢・街

Smart City

## 先進的な実証プロジェクトを優秀な人材と直ぐに 実行できる、地域創造の地

### 日本一のテストベッド

～国内最多の実証事業採択実績～

- ・ICT産業の育成・誘致を積極的に推進し、街を実証実験の場として提供
- ・デジタルトランスフォーメーションで生産性の向上と人材育成を推進、地方創生のモデル都市を目指す
- ・ICT専門大学（会津大学）が立地し、実証実験に最適な規模（12万人都市）であるほか、地方都市として典型的な産業構造と課題を抱える

### 市民主導のスマートシティ事業推進地域

～日本屈指の市民利用率を誇る地域ポータルサイトを整備～

- ・行政・地域と市民のコミュニケーション強化を目的とし、ポータルサイト「会津若松+（プラス）」を整備、約5万人のユニークユーザーが閲覧
- ・データ分析を活用することで、個々人のニーズに合わせた行政や地域の情報・サービスを提供例）予防接種など子育て情報、学校情報、除雪車運行情報、地域店舗チラシが閲覧できるほか、記事へのコメント可
- ・将来的には、市民への官民ワンストップサービス提供を目指す（マイナンバー連携・活用を検討）

### 国内先進のオープンデータ推進地域

～豊富なデータ揃えと整備されたサービス・アプリ開発環境～

- ・オープンデータプラットフォームとなる「DATA for Citizen（データフォーシチズン）」を整備
- ・公開データが閲覧できるほか、データを活用したサービス・アプリの開発を行える。現在、133のデータが公開され、43のアプリケーションが開発・提供されている。
- ・オープンデータや匿名化されたパーソナルデータ活用推進のため、標準API・開発者用ポータルを整備

### コンピューターサイエンス人材の宝庫

～日本屈指のICT専門大会津大にエンジニアが集結～

- ・会津大学はコンピューターサイエンス領域で学生数全国1位、スーパーグローバル大学に採択されているほか、世界大学ランキング日本版で23位
- ・世界で活躍する革新的なICT人材輩出のため、教員を海外に求め、教員の約半数を外国人教員が占めるほか、授業の多くは英語で実施
- ・コンピューターサイエンス領域に加えて、エストニアのタリン工科大学との提携により、ソーシャルサイエンス（アナリティクス・サイバーセキュリティ等）分野を強化

会津若松市 まち・ひと・しごと創生包括協議会（現在 39 団体※新規参画可）

## AIZU DATA VALLEY

市民・観光客・移住者・事業者（デジタルシティズンプラットフォーム）

 <b>Energy</b> 省エネルギーと再生エネルギーへのシフト	 <b>Sightseeing</b> 観光客ひとりひとりに対する魅力発信	 <b>HealthCare</b> スマートウェルネス / 医療費抑制	 <b>Education</b> ICT を活用した教育推進	 <b>Agriculture</b> スマートアグリカルチャー	 <b>FINTECH</b> ブロックチェーン / 地域通貨 / 地域商社	 <b>Mobil</b> ライドシェア / 自動運転
---	--	---	--	---	---	--

地域産業・街づくり / 活性化へ貢献

### 学 NewIT 人材育成

- ・アナリティクス講座
- ・セキュリティ講座
- ・サイバー演習

実データを活用した人材育成

### 産 デジタル産業の集積 機能移転と地元採用

- ・オープン API / オープンイノベーション
- ・オープン・ビッグ・データプラットフォーム
- ・オープン API / データ収集基盤

多様なデータの収集 / 分析

### 官 先端プロジェクトを 誘致・推進

- ・AI・ディープラーニング
- ・チャットボット・ロボット
- ・IoT プラットフォーム整備

事業成果を他地域へ

データプラットフォーム



会津地域スマートシティ推進法人（事業企実施・運営）

# 実・推

Promotion

## 多岐に渡り繰り返される実証と実績、スマートシティ先進の地

### エネルギー

#### エネルギーの地産地消の推進

- ・東日本大震災以降、会津若松では再生可能エネルギーの供給割合を高め、「エネルギーの地産地消」を目指す
- ・古くから稼働している水力発電所のほか、メガソーラーや木質バイオマス、風力、など様々な再生可能エネルギー発電施設が稼働（平成35年度の供給目標として、一次エネルギー需要の60%を目指す）

#### 省エネルギーの徹底

- ・市内の約600世帯の家庭に電力消費測定器（HEMS: Home Energy Management System）を導入し、電力使用状況の“見える化サービス”を実施（最大27%削減効果、市民一人ひとりの省エネ・節電意識の醸成と啓発を推進）

### 観光

#### デジタルインバウンド

- ・会津は歴史・自然・文化・食など豊富な観光資源を誇り、年間1700万人の国内観光客を呼び込んでいる。一方で、外国人観光客は1.6万人程度に留まっている
- ・継続的なインバウンド増を図るため、データに基づく観光施策の推進と外国人誘客へのプロモーション対策を実施（デジタルDMOやwi-fi環境によるプッシュ型情報提供のほか、デジタル（Coiney（コイニー）決済、デジタルサイネージなど）の受け入れ環境を整備）



### 農業

#### スマートアグリによる生産性向上

- ・会津は福島でも有数のコメの産地であり、会津古来の在来種である会津伝統野菜の産地であるが、豪雪地帯であることから、冬季は休耕している
- ・ハウス栽培等にICT技術を取り入れ、スマートアグリ化を推進することで収穫量の増加と品質の安定化を目指す（会津若松Akisaiやさい工場）
- ・生産者の「経験」や「勘」に頼る部分の多かった農業技術をICTでデータ化し、経験の少ない就農者でも生産しやすい環境整備を推進

### 教育

#### ICTを活用した教育環境の拡充

- ・会津では伝統的な規範意識を受け継ぐ「あいづっこ宣言」を掲げ、青少年の健全育成に取り組んでおり、「21世紀を担う会津人の育成」を課題と捉え、ICT教育にも力を入れている
- ・「あいづっこ+（プラス）」にて、会津若松市立幼稚園・小学校・中学校と教育委員会の情報を一本化して発信、これまでの「見にきてもらう」から「届ける」システムを整備

#### デジタル未来アート事業による早期ICT教育

- ・遊びを通じてICTを体感し、子どもたちがICTに興味を持つことで、将来のICT人材の育成に繋げる

### ヘルスケア

#### スマートウェルネスによる健康増進

- ・急速な高齢化や核家族化の進行、生活習慣病などの日本課題を、会津の街を実証フィールドとし、先駆的に解決することで、地方創生のモデル地域とする
- ・データヘルス計画に基づき、市民の健康課題解決のため、医療・健康データの公開、PHR、母子健康事業を推進（計測した自身の健康状態などを、スマートフォンやパソコンで“見える化”し、市民の健康意識の醸成を推進）
- （電子版“母子健康情報サービス”にて、乳幼児健診結果や予防接種の履歴が、パソコンやスマートフォンなどから閲覧できるなど、子育て支援を推進）

### 基盤

#### オープンデータの蓄積・活用の推進

オープンデータ利活用基盤「DATA for CITIZEN（データフォーシズン）」を整備し、公共データのオープン化を推進公開されているデータはDATA for CITIZEN上で閲覧できるほか、データを活用したサービスやアプリの開発を同基盤上で行える

	2014年以前	2015年	2016年	2017年	2018年以降
国との政策連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会津若松市復興推進計画策定</li> <li>・福島データバレー構想始動</li> <li>・“スマートシティ会津若松”構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣官房“地域活性化モデルケース”認定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経産省“地方版IoTラボ”認定</li> <li>・経産省“地域未来投資第4次産業革命”認定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務省“地方官民ネット100自治体”会津若松市発起人</li> <li>・総務省“優良事例展開推奨モデル”表彰</li> <li>・日米インターネット政策協力対話にて、日本側から会津モデルを提唱</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“生産性改革”と“人づくり改革”推進、デジタルトランスフォーメーションの推進</li> </ul>
会津大学の進化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーグローバル大学37校に採択</li> <li>・サイバーセキュリティ・アナリティクス人材育成強化（セキュリティ関連ハッカソンで常に上位）</li> <li>・エストニア・タリン工科大学とソーシャルサイエンス分野で提携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会津大学先端ICTラボ(LiCTIA)開所</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界大学ランキング日本版23位</li> </ul>	
グローバル連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オランダ・アムステルダムとスマートシティ分野で連携協定発表</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイ王国ボクシング協会と東京オリンピックに向けて事前キャンプ覚書を締結</li> </ul>	

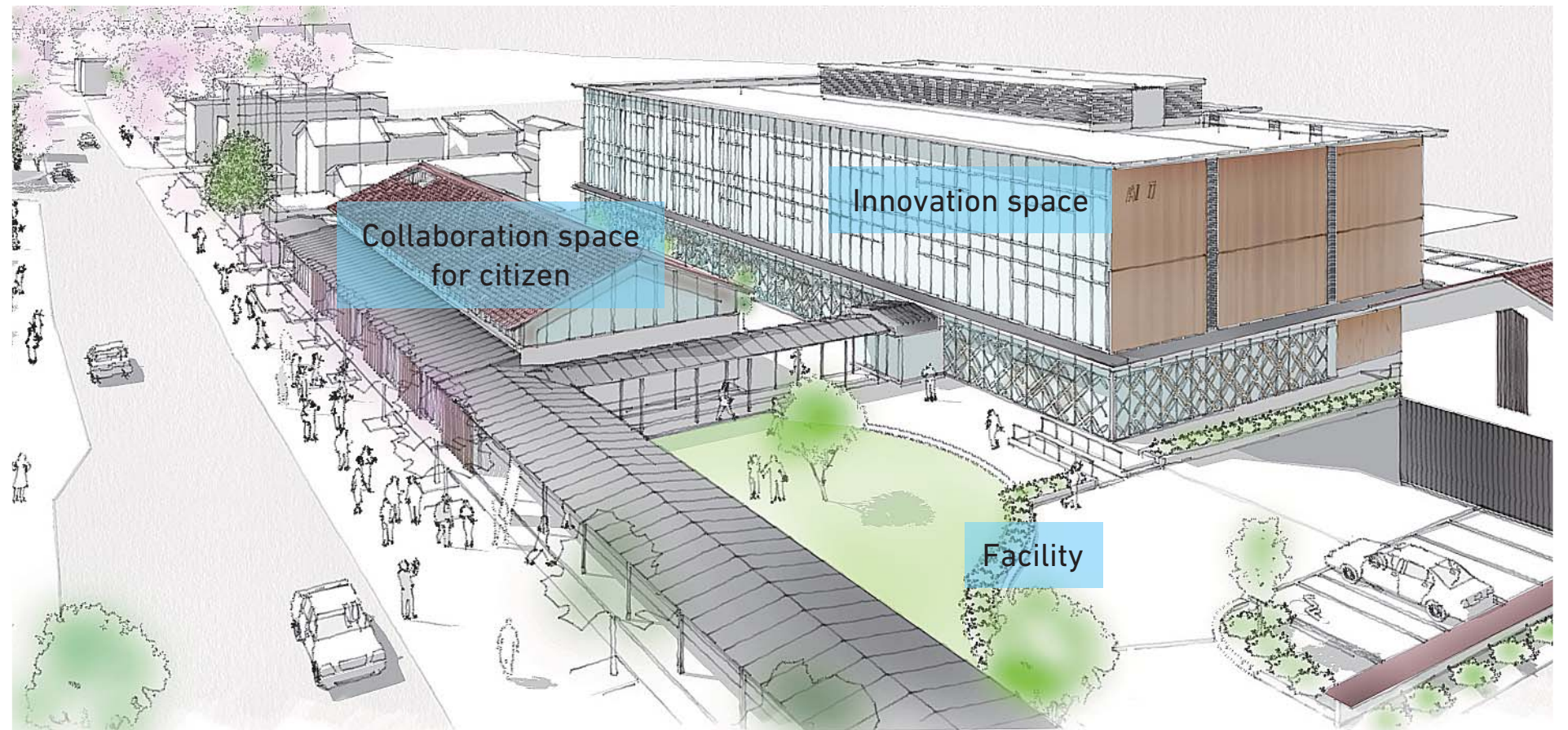
# 集・働

Base Station

## 会津発のイノベーション創出拠点、 市民・企業・大学の集い場

### Concept

- ・スマートシティ事業実証の場
- ・市民コラボレーションの場
- ・デジタルショーケース



### Collaboration space for citizen

#### 市民・企業・大学の集い場

- ・大学の研究者・学生とのコラボレーションの場  
会議、交流会、研修会等の開催
- ・市民とのコラボレーションの場  
スマートシティ事業への参加  
多目的イベントスペースとして利用
- ・その他  
コワーキングスペース  
カフェ・レストラン  
ヘルスケアアクティビティ等



### Innovation space

#### 3F

- 居室タイプD (2室): 50名入居可 (約66坪)
- 居室タイプE (4室): 20~25名入居可 (約33坪)
- 居室タイプF (2室): 15~30名入居可 (約20~42坪)
- パーティションの配置調整により居室広さの変更可能

#### 2F

- 居室タイプB (2室): 70名入居可 (約108坪)
- 居室タイプC (2室): 50名入居可 (約66坪)

#### 1F

- 居室タイプA (1室): 200名入居可 (約292坪)

※賃料: 1万2千円 / 坪 (管理費込)、共用部別途



### Facility

※休日は市民・観光客に開放

#### ライドシェア・カーシェア



#### Marché @ weekend



#### オンデマンドバス



#### スマートパーキング



## 〈 整った子育て環境 〉

会津藩校「日新館」をはじめとして、教育に力を入れている地域

### ・待機児童ゼロ

4月の一斉入園以外にも、前月から途中入園を受け付けており、会津若松市の待機児童はゼロ

### ・進学状況

ICT教育に力を入れる会津大学や、中高一貫校など教大や、中高一貫校など教育機関が充実

高校：9校

大学：2校（会津大、会津短大）

### ・あいづ教育

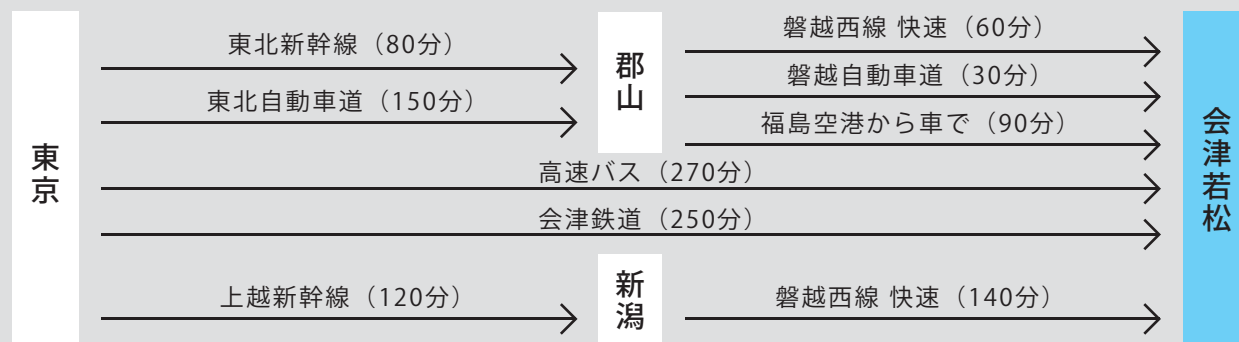
市内小中学校では、伝統的な規範意識を受け継ぐ「あいづっこ宣言」を掲げ、青少年の健全育成に取り組んでいる

小学校：20校



## 〈 ほど良い距離 〉

東京からのアクセス



## 〈 充実した医療環境 〉

三大総合病院のほか、一般病院、一般診療所等も多く立地

### ・竹田総合病院

地域医療支援病院の承認を受けるほか、地域周産期母子医療センターとして会津地方の周産期医療を担う

### ・会津中央病院

救命救急センターを持ち、会津地方の三次救急医療等を担うほか、ICTを活用し自治体・医療機関のデータ連携による医療事務効率化等を実証実験（医療ロボットダヴィンチ導入）

### ・福島県立医科大学会津医療センター

県内複数医療機関をネットワーク化し過疎地に向けた遠隔医療アドバイス等の先端的取組を実施

## 〈 豊かな自然 〉

### ・ゴルフ

市内からバス・車で30分

### ・東山温泉

市内からバス・車で15分

### ・スキー

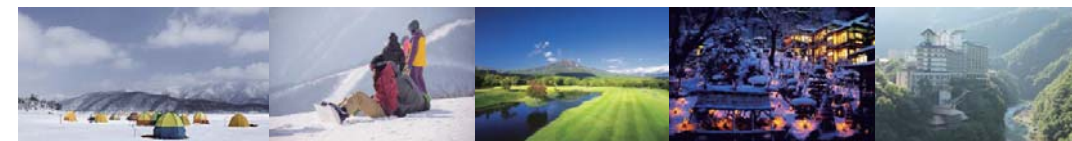
市内からバス・車で40-50分

### ・猪苗代湖レジャー

市内からバス・車で30分

### ・芦ノ牧温泉

市内からバス・車で30分



## 〈 魅力溢れる住・食・職 〉

### ・住居： 快適な住まい

市内マンション・古民家・別荘地

### ・食： 名物グルメの宝庫

名水・日本酒・こづゆ

### ・通勤： 短い通勤時間

市内からオフィス街まで徒歩圏内

近隣別荘地から市内までマイカー30分圏内

